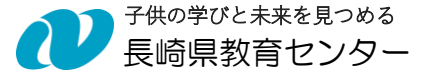


# 学校の内と外をつなぐ



カリキュラム・マネジメントは子供の資質・能力の育成を目指して教育の質を高めるものです。そのためには、学校の内外を問わず、教育効果を高める教育資源（リソース：人、物、時間、情報等）を活用して、教育課程を編成・実践することが大切です。

今回は、地域との連携による教育活動を事例に、リソースを活用したカリキュラム・マネジメントについて考えます。

## リソースを活用したカリキュラム・マネジメントの三つのポイント

**ポイント1 【学校のねらい】 これまでの教育活動を評価する** これまでも地域の特色を活かして様々な教育活動が実践されてきました。これらの教育活動が、特にリソースの活用によって、育成したい資質・能力を養うことにつながっているかを振り返りましょう。



私たちの学校では、「様々な問題に対してねばり強く協力して解決する力」を養いたいということを全学年で共有しましたよね。

だけど、活動することが目的化して、資質・能力の育成につながっているのかよく分からないなあ。



地域が抱える課題を地域の人たちと協働で解決するような教育活動が仕組みでないかしら。



**ポイント2 【地域の願い】 学校が育成したい資質・能力を地域と共有する** 学校が育成したい資質・能力を学校支援会議、学校評価委員会等の機会を使って地域と共有しましょう。ねらうのは学校と地域が協働して教育課程を編成しようとする仕組みを作ることです。



子供たちに、「問題をねばり強く協力して解決する力」を育みたいと考えています。そこで、地域が抱える課題を地域の人たちと協働で解決するような教育活動を行いたいのです。どのような課題が地域にはあるのでしょうか。



地域の皆さん

高齢化が進んで一人暮らしの老人が増えてきていることですかね・・・

お年寄りの見守り活動をしているんですが、協力する人が少なくて困っていたところです。



では、今のお話を子供たちに投げかけてみましょう。様々な意見が子供たちから出てくると思います。そこから子供たちの学びにつなげたいですね。



それは助かります。総合的な学習の時間の計画を見直せばできると思います。担当者に伝えて調整します。

私が子供たちに直接話しましょうか？生の声で地域の実情を伝えた方が子供の実感につながると思います。



**ポイント3 【子供の思い】 子供たちの思いから新たなリソースを見出す** 子供たちに課題意識を強く持たせることができれば、子供たちの中から様々な意見が出てきます。それを実現不可能と決め付けしないで、できることと、できないことを整理して新たなリソースの活用を模索しましょう。

一人暮らしのお年寄りの家を手分けして訪問したい！



その時、クリスマスカードを渡すと喜んでくれると思う。



それぞれのお宅を訪問するのは、お年寄りの個人情報を守ることや交通事故などからみんなを守ることを考えると難しいな。お年寄りを、近くの公民館に招待するのはどう？そこでクリスマスカードを渡したら？

賛成！クリスマス会を企画したい！



地域のお年寄りの協力を得て、デイサービスセンターというリソースが活用できる。これをどう用いれば、問題解決力の育成につながるだろう。学年会で話し合おう。

近くのデイサービスセンターに訪問するのはどうですか？私が先方に話をしましょうか。



## リソースを活用したカリキュラム・マネジメントの例 ～県内の高校の事例から～



### 地域と共に創り、磨くカリキュラム！

#### 今回のポイント！

**【学校のねらい】【地域の願い】【子供の思い】の  
三つをつなぎ、カリキュラムを常に改善しましょう**

#### 【学校のねらい】これまでの教育活動を評価する

現在の教育活動について、育成したい資質・能力を明確にしているか評価しましょう。

#### 【地域の願い】学校が育成したい資質・能力を地域と共有する

校内のみならず校外にも目を向けて多様なリソース活用を考えましょう。そのために、学校支援会議等を利用して学校が育成したい資質・能力を地域と共有しましょう。

#### 【子供の思い】子供たちの思いから新たなリソースを見出す

地域の願いや子供の思いを取り上げながら、教育活動づくりに挑戦することで新たなリソースが見つかります。これも「社会に開かれた教育課程」の実現です。

通信は今回が最終号です。カリキュラム・マネジメントの視点で学校の活性化を図りましょう。